

特別な支援が必要な生徒を対象とした 「心理学演習」の実践報告 —アンケートから読み取るグループワークの効果—

葉山大地 (中央学院大学)

キーワード：グループワーク，応用インプロ

筆者は、2013年度より単位取得制（フレックス制）の高校で「心理学演習」の授業を担当している。コミュニケーションに強く苦手意識を持つ生徒、発達障害が疑われる生徒、他国籍の生徒など、特別な支援が必要な生徒が多い。グループに一人はスタッフがつかないと活動が成立しづらいなど、特別な支援が実際に必要となる場面も多い。本授業は、応用インプロを軸として、構成的グループエンカウンターやグループワーク・トレーニングを織り交ぜた構成になっている（ワーク内容は、葉山・ヒュース、上田、2016においても詳しい）。

本発表は、筆者が授業を行ってきた4年間の活動を報告する同時に、生徒たちが授業を通してどのような変化・成長をしていったのかを、年度末のアンケートから探索的に検討することを目的としている。

授業内容およびアンケート方法

調査対象 関東部の単位取得制（フレックス制）高等学校に通う151名を対象とした。授業を履修した生徒の内、H25年度は67名、H26年度は34名、H27年度は21名、H28年度は29名がアンケートに回答した。

授業の構成 毎週の授業は「テーマ説明」、「テーマに沿ったワーク」、「振り返りシートの記入」から構成。授業の内容 各種ワークは、ゲーム形式のものがほとんどである。ワークの中心は、応用インプロを用いたゲームであり、これらのゲーム活動は「yes and」（他者のアイデアを受け入れ、自分のアイデアを足す）を体感するものが多い（Figure1, 2参照）。



Figure 1 「私は木です」



Figure 2 「2 ドット」

年度末に行ったアンケート内容 各年度で、授業時間の最後に以下のアンケートを実施した。

平成25・26年度の質問内容 「1年間の授業を通して、頑張った（もしくは意識した、努力した）と思うこと」

平成27・28年度の質問内容 「1年間の授業を通して、自分が変わったなと思うこと」

アンケート結果

生徒が、授業を通して頑張ったことは何であろうか。平成25・26年度に行ったアンケート結果により、(1)

自己表現、(2) 他者理解、(3) 協調・協力、(4) その他というカテゴリーに分けられた（Table 1 参照）。

本授業を受講していた生徒は、何を不得、どのような変化をしたのだろうか。平成27年度および平成28年度に行ったアンケートで得られた回答から全般的変

Table 1 H25・26年度のアンケート結果

		H25		H26	
カテゴリー名		回答数	%	回答数	%
自己表現	あまり話さない人と話すこと	1	1.5	6	17.6
	コミュニケーションすること	6	9.0	3	8.8
	自分から進んで関わること	3	4.5	1	2.9
	考えながらかかわること	9	13.4	4	11.8
他者理解	発言すること	14	20.9	10	29.4
	アイデアを受容すること	4	6.0	1	2.9
	相手の話を聞くこと	4	6.0	2	5.9
自己協調	相手を理解すること	7	10.4	2	5.9
	他者と協力すること	5	7.5	3	8.8
その他	周囲に合わせること	4	6.0	0	0.0
	欠席しないこと	2	3.0	0	0.0
	分からない・無し	2	3.0	0	0.0
	その他	3	4.5	2	5.9
無回答		3	4.5	0	0.0
合計		67	100	34	100

化、積極的な態度、自己表現、他者受容、その他という5個のカテゴリーが得られた（Table 2 参照）。

Table 2 H27・28年度のアンケート結果

		H27		H28	
カテゴリー名		回答数	%	回答数	%
全般的変化	関わり方が変わった	1	4.8	2	6.9
	前より人と話せるようになった	5	23.8	5	17.2
積極的な態度	前向き・積極的になった	4	19.0	6	20.7
	人の顔を見られるようになった	0	0.0	5	17.2
自己表現	アイデアを出せるようになった	1	4.8	1	3.4
	考えて話すようになった	1	4.8	3	10.3
他者受容	話を聞けるようになった	2	9.5	0	0.0
	相手のことを思う	1	4.8	3	10.3
その他	他者を受容すること	1	4.8	1	3.4
	分からない	1	4.8	2	6.9
その他	その他	4	19.0	1	3.4
合計		21	100	29	100

引用文献

- 葉山 大地・ヒュース由美・上田 知子 (2016). 発達障害を持つ当事者を対象としたインプロ・ワークショップの効果に関する探索的検討 中央学院大学 人間・自然論叢 42, 3-28.
- 葉山 大地 (2017). 特別な支援が必要な生徒に対するグループワークの実践報告—アンケートから読み取るグループワークの効果—, 中央学院大学人間・自然論叢, 44, 178-200.